山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

令和４年４月１９日（火）　　第５号
校　長　　池部　聖吾智（みわとも）

授業参観・ＰＴＡ総会・学級懇談会お世話になりました

１５日（金）の午後、週末の平日にも関わらず多くの参加をいただき、ありがとうございます。ちょうどこの日は、オンライン会議も入っており、授業参観の様子を見て回れなかったこと、総会の途中に席を外したことをお詫びいたします。校長あいさつでは、始業式で児童に見せたマジック（？）も披露させていただき、「少々変わった校長だな」と思われたかもしれません（笑）。あいさつの後には拍手をいただき、温かい気持ちになりました。学級懇談会後も数名の保護者の方々とお話ししましたが、にこやかに接していただき「潤徳小に来て良かった！」と思いました。校長室は「千客万来」常に開放しています。いつでもお立ち寄りください！

学校教育目標に込めた思い

令和四年度学校教育目標
確かな学びを「世のため・人のため」に生かそうとする児童の育成

私は潤徳小への赴任が決まった翌日、通潤橋を見に行きました。そして思いついたのがこの目標です。さらに私は別名「通潤橋プラン」と名付けました。

通潤橋は、サイフォンの原理・逆サイフォンの原理・武者返しの工法等の知識（確かな学び）を生かして、川より高地にある白糸台地に用水路を通すことを実現させました（「世のため・人のため」に生かす）。

私は、通潤橋をながめながら「この通潤橋物語そのものが今求められている学力観ではないか」と考えました。

潤徳小の潤は、通潤橋の潤です。私はこの目標を自画自賛しています（笑）。

潤徳抄

▼潤徳小学校の花壇は全国にも誇れるくらい華やかで花いっぱいである。それは、事務室の小田原先生を中心に本校の先生方が日頃から手入れをされているからである▼校長も替わり、学校のホームページも少しずつ更新作業を進めている。その際に最新の花壇の様子を載せようとデータを探していたらすぐに使えるデータが満載だった。さらに驚くことに校内を回ってみると今にでも撮影して使いたいスポットがあちこちにあった▼学校の朝は慌ただしい。その日の行事や授業の準備もしなければならない。そのほんの少し前のわずかな時間に先生方が動かれているのだ▼「花壇づくり」は潤徳小学校初代校長である野田先生が当時の先生たちと児童で始められた伝統ある活動である▼新学期になったので、先生だけでやるのではなく、子どもたちも巻き込み、みんなで手入れをしていきたい。また地域の力もぜひお借りしたい。